



和紙の華咲くアート展

花菜ガーデン×和紙×アート——特別エキシビション

WASHI×ART



2016.4.29TH → 5.8^{SUN} | 9:00-17:00
会期中無休

神奈川県立花と緑のふれあいセンター

花菜ガーデン特設会場 ▶ 観覧無料(入園料金別途)

主催：神奈川県立花と緑のふれあいセンター 花菜ガーデン(指定管理者 株式会社かながわGAパートナーズ)
企画・制作：ヒガ・アーツ&メタル/chaaka
後援：神奈川新聞社/テレビ神奈川/FMヨコハマ/神奈川中央交通/湘南ケーブルネットワーク/FM湘南ナバサ

エキシビション特設サイト www.washi-art2016.com

植物から和紙が生まれ、和紙からアートが生まれる。

日本全国にさまざまな種類がある「和紙」。主な原料はコウゾ、ミツマタ、ガンピなどの植物です。2014年には「石州半紙」「本美濃紙」「細川紙」の3種が『和紙：日本の手漉和紙技術』としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。和紙は、世界に誇るべき「日本の伝統文化」です。〈和紙の華咲くアート展〉は、和紙をテーマにしたアート・エキシビション。日本の伝統と芸術を世界に発信するものです。花と緑があふれる『花菜ガーデン』で、和紙とアートを融合させた特別エキシビションをお楽しみください。

Artists 出品作家



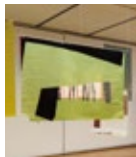
石渡真紀 [和紙作家] www.makiishiwata.com
 San Francisco Art Institute BFA 絵画専攻
 25年のアメリカ・カリフォルニア生活の中で、小中学生への美術指導、アートセラピー、絵画、版画など幅広い分野で活動。帰国後は日本古来から伝わる伝統、手漉和紙に深く魅了され、紙漉き職人の技を生かしながら独自の「花・根」の形を生み出している。高島屋、三越、松屋、阪急など百貨店への出品をはじめ、主に関東・関西のギャラリーやショップで常に新作を発表している。最近では美濃和紙の里会館での大規模なインスタレーションが話題をよんだ。



参考作品



中田有華 [版画作家] www.chapsow.jimdo.com
 武蔵野美術大学油絵科版画専攻
 和紙に、表と裏、両面から挟むような形で絵の具の層をのせる版画を創作。表と裏にただ色の層を重ねるのではなく「間」にある和紙を基点とし、そこから物質が発生しているというイメージの元に制作している。武蔵野美術大学卒業制作優秀作品展をはじめ、町田市国際版画美術館、京都市美術館、表参道画廊など多くの展覧会に出品している。



参考作品



杉崎英紀 [和傘作家] www.shonanwagasa.com
 神奈川県茅ヶ崎市在住
 「湘南和傘 英遊」主宰
 伝統的な和傘と現代的なアート表現を融合させた独自の和傘を制作している。色とりどりの和傘をはじめ、筆文字でメッセージを綴ったものやイラストが描かれた和傘など、斬新な作品が注目を集めている。



参考作品



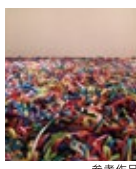
小田 薫 [造形作家] www.odakaoru.com
 東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程美術専攻(鍛金)修了
 博士号取得
 金属を打ち延べて形成する技法「鍛金(たんざん)」を用いたコンテンポラリーアートを創作。電通クリエイターシリーズに採用されるなど、いま注目の美術家のひとり。2014年には平塚市美術館でロビー展を行い、作品集「記憶の住処 - 小田 薫の彫刻」を出版している。
 (和紙の華咲くアート展)では、鍛金と和紙を融合させた新作を出品する。



参考作品



内山 聡 [美術家] www.uchiymasatoshi.jimdo.com
 多摩美術大学・大学院美術研究科修了
 紙テープや気泡緩衝材などを使用し、独自の世界観で作品づくりを行う現代美術家。東京や神奈川、関西などで多くの展覧会に出品。2015年に藤沢市がオープンさせた「藤沢市アートスペース」の開館記念特別展覧会のオープニングアーティストにも選出されている。
 (和紙の華咲くアート展)では、和紙を使った新作を出品する。



参考作品

かな 花菜ガーデン — 約9.2haの広大な園内

神奈川県立花と緑のふれあいセンター『花菜ガーデン』は、2010年3月にオープンした施設です。バラをはじめ、ハナモモ、サクラ、クレマチスなど、四季折々の花が展示された「フラワーゾーン」、田植えや野菜の収穫体験の場となる「アグリゾーン」、展示室やライブラリーなどを備え、植物についての知識が深まる「めぐみの研究棟ゾーン」の3つのエリアで構成されています。富士山が一望できるビューポイント「みはらしデッキ」も人気です。約9.2ha(横浜スタジアムの約3.5倍)の開放感あふれる園内で、季節の花と緑をお楽しみください。



和紙の華咲くアート展

出品作家来場

〈和紙の華咲くアート展〉の会期中、出品作家が「花菜ガーデン」に来場します。作品や創作などについて作家と直接対話できる貴重な機会です。作家来場予定はエキシビション特設サイトをご覧ください。

▶ www.washi-art2016.com

Information 花菜ガーデン 施設情報

入園料金

※()内は団体料金	(税込)		
	ピークシーズン 5月9日～31日	レギュラーシーズン 3月～5月8日、 6月、9月～11月	スローシーズン 7月、8月、12月～2月
大人(20歳～64歳)	880円(780円)	520円(420円)	220円(170円)
中人(高校生・学生・20歳未満)	550円(450円)	300円(200円)	110円(60円)
小人(小学生・中学生)	300円(200円)	200円(100円)	110円(60円)
シニア(65歳以上)	550円(450円)	310円(210円)	110円(60円)
幼児(学齢に達しない方)	無料		
年間パスポート	3,300円		

駐車料金

(税込)		
普通車	500円	二輪車 無料
大型車	1,520円	※緑化協力金20円を含む

開園時間

※ピークシーズンは8:30開園	
3月1日～11月3日	9:00～17:00
11月4日～2月 末日	9:00～16:00

※ピークシーズンの日程は年によって変わります。
 ※年間パスポートは発行日より1年間有効です。ご利用の方は駐車料金が無料(大型車を除く)になります。
 ※団体割引は、有料のご入園者が20名以上いらっしゃる場合に適用されます。
 ※有料エリアとレストラン・ショップへのペットのご同伴はご遠慮いただいております。
 ※身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)は、有料エリアもご同伴いただけます。
 ※障害者手帳をお持ちの方は入園料金が無料になります。窓口へ手帳をご提示ください。

花菜ガーデン お問い合わせ ☎ 0463-73-6170

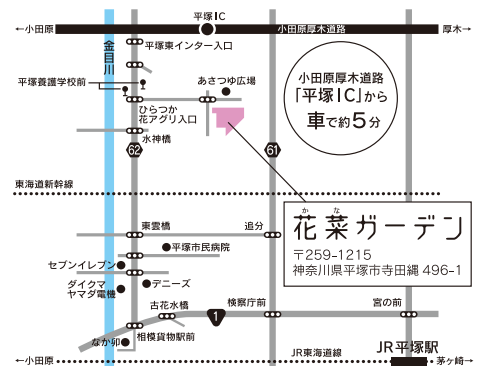
神奈川県立花と緑のふれあいセンター 休園日: 無休(スローシーズンのみ毎週水曜日・祝日の場合は翌日/12月28日～1月4日)

花菜ガーデン 公式サイト

www.kana-garden.com

かなガーデン

検索



【JR 平塚駅からお越しの場合】
 北口バス乗り場 8番 71・74・75 系統
 養護学校行き 約20分
 「平塚養護学校前」下車、徒歩約5分

【小田急線秦野駅からお越しの場合】
 北口バス乗り場 1番 71・74 系統
 平塚駅(北口)行き 約25分
 「平塚養護学校前」下車、徒歩約5分

